

机
の
中
の
金
魚

◎登場人物

伊東 葵（イトウ アオイ） 20歳

西村 悠緋（ニシムラ ユウヒ） 20歳

南雲 千草（ナグモ チグサ） 20歳

沢北 蒼士（サワキタ ソウシ） 20歳

天音 虹介（アマネ コウスケ） 20歳

加地 彩夏（カジ サヤカ） ※名前のみ

○プロローグ

舞台はそう大きくはない神社の縁側。

中学校の裏に位置し、地元のお祭りなどはここで開かれる。

祭りの日以外は基本的に閑散としており、人の往来もな
いたため中学生の溜まり場になっている。

夏にはここで花火を楽しむ者等もいる
5年前。2008年。秋の出来事。

縁側には伊東と西村。

金魚花火（手持ちの水中花火）を持っている。

2人の前にはバケツがあり、その中で静かに金魚花火を
する西村。

西村は静かに、花火の先を見つめてる。

花火が消えても、視線は動かない。

伊東は悲しそうにそんな西村の横顔を見つめる。

伊東はメガネをかけている。

西村 加地、金魚好きだったよね？

伊東 ……うん。

西村 去年みんなで金魚すくいした後、やったよね金魚花火。

伊東 ……やったね。

西村 加地がさあ、金魚すくいしながら言ってたんだ。

伊東 何？

西村 水面は境界線だって。

伊東 境界線？

西村 そう、境界線。水面という壁を通して向こう側とこっち側の

世界があつてさ。

伊東 うん。

西村 金魚すくいは、こう、向こう側の世界のナニカをすくい取っ
てるって。

伊東 向こう側…。

西村 ……そういえば、浴衣の柄も金魚だったよね加地。

伊東 うん。金魚だった。ちよつと子供っぽいよね。

西村 似合ってたな。

伊東 うん。

西村 『汚れた水の中で、赤く光る彼女の背中は、怪しく、そして
最高に美しかった。』

伊東 え？

西村 加地がそんなこと言ってて……俺、「詩人かよ！」ってツッコミ入れた記憶がある。

伊東 ……ツッコんでたね。

西村 あいつの好きな美術作家さんの言葉なんだって。

伊東 そうなんだ。

西村 （涙を浮かべて）俺、言えなかったよ。ずっと言おう言おうと思ってたのに……思ってたまま夏が終わって……そのままあいつ、向こう側に行っちゃったんだ。

伊東 ……うん。

暗転。

○本編

5年後、2013年8月31日。

同縁側にて。

南雲が縁側に座り、缶チューハイを空けている。

その横にはスーパーのビニール袋に入った4人分のお酒とおつまみ。

そこへ、沢北が現れる。

沢北 飲み始めんの早くない？

南雲 いいの。どうせ、うちが最初で待つことになるんだもん。

沢北 そっか……。

沢北、南雲の横に座る。

南雲 ん。（缶を渡そうとする。）

沢北 あいつらが来てからでいいよ。

南雲 ……そう。（袋に缶を戻す。）

沢北 うん。

南雲 沢北は？ 1人で行ったの？

沢北 え？

南雲 墓参り。

沢北 ……うん。南雲は？

南雲 うちは今も行っていないよ。

沢北 そっか。

南雲……うちは行く資格ないからさー。

沢北 そんなことないだろ？

南雲 それに彩夏の両親に見つかったらまた色々言われちゃうからなー。

沢北 まだ続いてんのか？

南雲 いや、今はもう。東京出たしね。

沢北 ……そうか。

南雲 高校時代は大変だったなー。

沢北 え？

南雲 沢北と違ってうち、高校もこっちだったからさ、家まで来るわけよ。「親友」のくせに何してたんだお前はー。うちの子を殺したのはお前だーってさ。

沢北 そっか。

南雲 だから大学は東京出て、一人暮らしして。正解だったよ、マジで。

沢北 そうだな。

南雲 うちが東京出てなかったらまだ続いてたんじゃないかなー。

沢北 そうかもな。……加地の親の気持ちもわからなくはないけど。

南雲 そりやな。でもこっちも「親友」のつもりなんてないわけだから困っちゃうわけ。

沢北 そんなこと言うなよ。

南雲 そりや、うちも彩夏も同じ美術部だけどさ。沢北とうちは基本幽霊部員っていうか、ずっと漫画読んでただけじゃん？

沢北 ……まあね。美術なんてモナリザぐらいしかわかんなかったし。

南雲 うちなんてあん時モナリザすらわかんなかったんだから。

沢北 モナリザの作者は？

南雲 ダ・ヴィンチ・コード！

沢北 それ映画だから。

南雲 え？

沢北 レオナルド！ レオナルド・ダ・ヴィンチ！

南雲 惜しい！

沢北 惜しくないし。今もわかんねえんじゃん。

南雲 ちよつと忘れてただけだよ。

沢北 嘘つけ。

南雲 うちはほら、美術部っていうか漫研だから？

沢北 なんだそりや。……まあ確かにマジで漫画ばっか読んでたもんなー。

南雲 彩夏と葵ですら一緒に読んでたことあるもんな。

沢北 そうだっけ？

南雲 そうだよ。
沢北 なんかい懐かしいなー。
南雲 毎年同じこと言ってる。
沢北 中3の時からだから、もう5年目かー。
南雲 気づいたら二十歳（はたち）だよ。
沢北 大人だー。
南雲 ……大人だよ。（缶を指して）正式にこれも飲めるってわけ。
沢北 確かに。……そうそう、正式で行ったらさ！
南雲 何？
沢北 俺、正式に保護観。なくなりましたー！
南雲 え？ つーかなくなってたの？
沢北 素行がよけりや何ヶ月かで解除らしいんだけどさ、俺、悪かったから。
南雲 俺悪かったって超だせえ。
沢北 うるせー。実際そうだったんだから。事実を言ったただけだろ。
南雲 事実か……。
沢北 事実！
南雲 マジでなんであんなことしたんだよ。
沢北 だから言ってるじゃん。ムカついたからってだけだよ。
南雲 それだけで顧問ボコボコにするかよ普通。
沢北 ガキだったんだよ、俺も。
南雲 まあガキではあったけども……。

そこに、伊東と西村が現れる。

伊東はメガネをかけている。

伊東の手には金魚花火が、西村の手にはバケツがある。

伊東 お待たせ2人共。（花火を置く。）

南雲 おお。

沢北 おせーよ。もう日い落ちちゃってんじゃん！

西村 （バケツを置きながら）花火するんだから日は暮れてていいですよ。

沢北 た、確かに！

西村 なんで予想外みたいな顔してんの。

南雲 （沢北を指して）こいつ、やっと保護観解除されたんだって。

西村 え？ 解けてなかったの？

南雲 な！ まず、それでしょ？

伊東 でも、よかったね。やっど。

沢北 これで正式に自由の身だよ。

南雲 じゃあ、沢北のお祝いも込めて、早速飲みますか。

西村 俺ビールがいいな。
南雲 はーい。(缶を渡す。)

沢北 俺、ワインで。

南雲 ねえよ！

沢北 用意悪っ！

南雲 神社でワイン開けないだろ普通。

西村 はい。沢北もビールね。(缶を渡す。) 伊東は？

伊東 私は、ソフドリで。

南雲 葵飲めないんだっけ？

伊東 いや、ちよつとは飲めるんだけど、あんまり強くなくて……。

沢北 とりま、一杯目は、さ。

南雲 そうそう、一杯目は！

西村 無理して飲まなくてもいいんじゃない？

沢北 形だけ形だけ。(伊東に缶を渡す。)

伊東 じゃ、じゃあ。

沢北 はい、行き渡ったね。

西村 はーい。

南雲 うい。

沢北 それではみなさま、お手元のグラスをお持ちください。

西村 グラスじゃないけどね。

沢北 細けえなー。禿げるぞ？

西村 禿げたくはないなあ。

沢北 いーやお前は禿げる！ そういう髪質だもん。

西村 どういう髪質だよ。

伊東 薄め？

西村 ちよつと！ やめろよ！

南雲 そうそう西村の髪質の話はいいから！

沢北 お？

南雲 缶持ちっぱ！

沢北 ……そうだな。それじゃ、加地に……。

4人、静かに宙に缶を掲げる。
しばらく掲げた後、飲み始める。

西村 あれから5年かー。

沢北 伊東が言い出したんだっけ？ この会。

伊東 うん。

南雲 さすが部長！

伊東 部長だからってわけじゃないけど……。

沢北 いやいや、クールメガネ部長のおかげですよ！

西村 なにそのセンスないあだ名。

沢北 センスないかな？

伊東 ない。

南雲 でも確かに葵ってずっとメガネだよな。

伊東 え？

西村 そんなに悪いんだっけ？ 目。

伊東 外すと殆どなにも見えないんだー。

沢北 じゃあじゃあ、ちよつとメガネとってこれ何本か当ててみて。
（指を2本立てて）

伊東 さすがにそれは見えると思うけど。（メガネを外してみせる。）

沢北 どう？

伊東 2本。

南雲 それメガネとる前から指立ててたら意味ないだろ。

沢北 た、確かに！

伊東 そういふボケ？

西村 あれ？ 今思ったんだけど、伊東ってメガネとった方がいいんじゃない？

伊東 そうかな？

南雲 確かに。

西村 コンタクトにしないの？

伊東 目に異物入れるの怖くて。（メガネをかけ直す。）

沢北 えーやめろよ。コンタクトにしたらクールメガネ部長じゃなくなっちゃうじゃん！

西村 いや、センスないあだ名浸透させようとするなよ。

伊東 中1の時はよくいじられたなー。

南雲 そうなの？

伊東 うん。

沢北 あんま記憶ないわー。

伊東 やった側は覚えてないけど、やられる側は覚えてるの。

沢北 そお？

伊東 西村が助けてくれたんだよね。

西村 そんなことあったっけ？

伊東 あったよ。やった側は覚えてないけど、やられる側は覚えてるの。

西村 そーか。

伊東 そうだよ。

沢北 そりゃ5年以上経ったら忘れるよなー。

伊東 もう二十歳（はたち）だもんね。

沢北 そーいや、みんなは？ 成人式、やっぱ地元？

西村 まあそうかな。

伊東 私も。中高こっちだし。
南雲 うちは向こうで済ませよーかなって。

伊東 なんで？

南雲 こっちいるとき、なんだかんだ彩夏のこと聞かれるから嫌な
んだよね。

伊東 ……そうだよな。(うつむく。)

南雲 葵がそんな顔すんなって！ うちの問題だから！

伊東 あ、ごめん。

南雲 沢北は？ 沢北も向こうで済ますん？

沢北 俺もこっちじゃできないかなー。先生とかに合わす顔ないし。

間。

伊東 そういえば……捕まったらしいよ。永井先生。

沢北 え？

南雲 捕まったって？ 逮捕？

伊東 うん。

西村 俺もさっき伊東から聞いてびっくりしたんだけど、しかも理
由がセクハラなんだって。

沢北 マジか！ あいつならやりかねないな。

南雲 うわー。やらかしたなー。

伊東 びっくりだよな。

南雲 あいつが2年の終わりで転勤したのってそれとなんか関係あ
るのかな？

伊東 どうか。

間。

西村 沢北さ。

沢北 ん？

西村 沢北があの時永井先生のことボコボコにしたのって、そのこ
と知ってたからなんじゃないの？

沢北 そのこと？

西村 セクハラ。

南雲 それって、つまり……。

西村 うん。俺、伊東から永井が逮捕されたって聞いて思ったんだ
けど。加地って永井から……。それでお前……。

南雲 彩夏が自殺した原因が永井ってこと？

西村 うん。……そうじゃないかなって。

伊東 そう、なの？

沢北 ……まあ、永井が逮捕されたんじゃないやそうなんだろうなー。
南雲 だろうなって何？
沢北 俺も噂しか聞いてなくてさ、違ってたらやだなーって思って
言わなかったんだ。
南雲 なんだよそれ。
西村 確証無しに殴ったってこと？
沢北 確証なんてあるかよ！ 被害者の加地は死んじゃってるんだ
ぜ？ だったら俺にできることは、復讐ぐらいじゃんか！

間。

沢北 殺す気でやったんだけどなー。届かなかったわ。
南雲 らしいっちゃ、らしいけどさ……。うちにちよつとくらい
……。
西村 そうだよ！ なんで教えてくれなかったんだよ！
沢北 え？
西村 俺だって、それを知ってたら……。
沢北 ……悪いな。
西村 謝られたって。
西村 だけどさ、これは俺の役目だって思ったんだよなあ。あの手
紙をもらった俺が、復讐すべきだって。
西村 ……でも、俺は、俺の方が。
伊東 しょうがないよ。彩夏は、沢北のことが好きだったんだもん。
西村 それはわかってる！ でも！
南雲 落ち着けて西村。
西村 だって！
南雲 西村があん時ただけ彩夏のことを好きだったかは知ってる。
沢北 もそれは知ってた。だから今まで言わなかったんだろ？
伊東 西村は、まだ彩夏のことを好きなんだね。
西村 ……。
沢北 やめよーぜ。終わった話だ。加地の命日に俺たちが喧嘩して
ちや、天国のあいっくに申し訳がたたねえだろ？
南雲 そういうこと。
伊東 そうだよね。
西村 ……お前は、どうだったんだ？
沢北 何が？
西村 お前はあの時、俺が加地のことが好きって知ってたじゃんか。
……お前も加地のことが好きだったのか？
沢北 ……。
南雲 もうやめようって。

沢北 ……やっぱ永井は殺しとくべきだったな。西村のためにも。

西村 え？

沢北 あいつ殺しとけば、加地の命日にこんな話しないで済んだんだから。

西村 いや……ごめん。喧嘩がしたいわけじゃないんだ。でも、加地のことになると思うが、真っ白になっちゃって……。

沢北 ……正直言ってさ、俺は別に元々加地のことが好きなわけじゃないかった。

西村 え？

沢北 お前が加地のこと好きなのも知ってたしな。でも、あいつの気持ち知ってから、机の中にあったあの遺書を読んでから。頭真っ白になっちゃって……。

西村 うん。

南雲 そりゃ、遺書で告白されたら気にするよな……。うちだって、遺書で親友って言われて頭真っ白になったんだから。

西村 さすが加地だよ。キャンバス真っ白にして飛び立っていったやつだ。

間。

伊東 ……彩夏って、そういうアーティスト気質なところあったもんね。

南雲 金魚の絵ばーっか書いてたなあ。

西村 ……元々印象派が好きでさ、そこから浮世絵に行き着いて。そんで歌川国芳（くによし）の「金魚づくし」っていう可愛い金魚の浮世絵シリーズを見て、金魚に目覚めたんだってさ。

伊東 美術室で、でっかい金魚飼ってたよね。

南雲 でっかくなったんだよあれ。

沢北 そうそう、俺ら中1の時の夏祭りだよな？

西村 そうだったと思う。

沢北 帰り道でさ、ゴミ箱に金魚の袋ごと捨ててあって、かわいそうだって加地が言い出して、俺らで飼うことにしたんだよ確か。

西村 金魚って放っておいてもどんどん大きくなるよね。

伊東 そうだね……。

間。

南雲 よし！ やるか、金魚花火。

沢北 毎年恒例金魚花火！

西村 あ、ちよっと待って。

沢北 え？

南雲 なんて？ やんないの？

西村 なんか、今日虹介が来るんだって。

沢北 虹介って天音？

西村 そう。

南雲 天音……マジで？

西村 うん。

沢北 超久しぶりじゃん！

伊東 もう丁度5年会ってないよ。

沢北 そうだよな。9月になってから学校1回も来てないもんな。

南雲 元々秋で転校だったんだろ？

沢北 でも薄情だよな。挨拶もないなんて。

南雲 だよな。

伊東 よく連絡できたね。

西村 急にフェイスブックでメッセージが来たんだよ。話したいことがあるから美術部のみんなに会いたいわって。

伊東 話したいこと？

南雲 今更？

西村 だから、今日、8月31日なら、みんな毎年集まってるからって。

沢北 絵が超うまかったぐらいしか覚えてることないぞ。

伊東 ……天音は彩夏の自殺のこと知ってるのかな。

西村 どうだろうね。知らないかも。お通夜にも来てなかったから。

そこへ天音が現れる。

原宿系の奇抜なファッションに身を包み、手にはスケッチブックを持っている。

天音 呼ばれて飛び出てじゃじゃじゃーん！ 噂をすればなんとやら！ 皆超絶お久しぶり！

4人、天音のテンションに呆然としつつも、口々に挨拶する。

天音、一目散にスーパールの袋に向かっていく。

天音 あーお酒あんじゃん！ 飲んでいい？

南雲 どうぞ……。

天音 （答えを待たずに）ありがとう。丁度喉渴いてたんだよねー。ほら、もう夏も終わりだっていうのにくそ暑いじゃん？

沢北 酔ってんの？ お前そんなキャラだっけ？

天音 うーん。もう会うの久しぶりすぎて接し方忘れちゃったナリ
ー。だってえ5年もあったらピカピカの小学1年生もカピカピの
小学6年生だよ。

西村 それ、なんの例えにもなっていないじゃ。

天音 いーやー元気だったかい？（1人1人の肩を叩いて）西村！

沢北！ 伊東！ 千草！

沢北 何しにきたんだよお前！ あんま声でけーと近所の人に警察
呼ばれんぞ？

天音 じゃえじゃえ！ ピーポーピーポーは困るねー。いやあでも
みんなに会えたのが本当に嬉しくてさ！ なになに今沢北は何
してんの？ 大学生？

沢北 あ、ああ。

天音 東京出たの？

沢北 お、おう。

天音 俺も東京住みだから、街で見かけたら声かけてくれよな！
でででで？ 伊東は？ 千草は？

伊東 ……私はこつちで専門。千草は東京の大学に通ってるよ。

天音 ふーん。絵は？ まだ描いてんの？

伊東 う、うん。一応ね。そういう学校だから。

天音 そーかそーか。そういう学校かー。ほんでー。にっしーは？
何やってんの今？

西村 にっしーなんて初めて呼ばれたんだけど。

天音 そうだっけ？ 気にしない気にしない。そんで？ 何してん
の？ まだ絵え描いてるの？

西村 あ、うん。こつちの大学。

天音 美大？

西村 いや、普通だよ。

天音 絵は？

西村 サークルで。

天音 そーかそーか。サークルでねー。にっしー彼女は？ できた？

西村 いや……。

天音 せっかくのキャンパスライフ！ 彼女も作らず何やってんの
さー。いつ作るの？ 今でしょ！

西村 （愛想笑い）

天音、西村にどんどん近づいていく。

西村は、呆然とただ黙って天音を見ている。

天音 にっしーあれだもんない。中学時代は加地彩夏にぞっこんだ

ったからなー。ラブずっきゅんだったもんなー。(顔をギリギリまで近づけて) 桃色片思いだったもんなー。

南雲 (天音を引き剥がして) やめろよ! だる絡みすんじやねえよ!

天音 なんだよ千草ー。いいじゃんかよー。久々の再会なんだぜー! あ、そだ! この天才画家様がお前の似顔絵描いてやるよ。

南雲 は?

天音 10年後には高く売れるぜー。

天音、スケッチブックにへのへのもへじを描いて南雲に渡す。

天音 ほーらできた。

南雲 なんだこりや。

天音 そーだそーだ。メロンソーダ。メロンジュース。話が逸れちゃったな。で? にっしー彼女はできたのかい? (再び、西村に迫っていく。) それともあれかい? まだ加地彩夏が忘れられないとか言っちゃうのかい? まだまだ恋するフォーチュンクッキーなのかい? ねーねーねーねー。

南雲 (再び天音を引き剥がして) やめろって言ってんだろ! 彩夏は!

間。

天音 自殺したんだろ? 知ってるよ。

沢北 ……知ってたのかお前。

天音 (花火を見つけて) 金魚花火。なにこれ? 毎年やってんの? あいつへの吊い? 確かに花火には鎮魂の意味合いもあるって言うけどさー。

南雲 悪いかよ。

天音 ああ、悪いね! 気持ち悪いことすんなよ。いつまでもうじうじうじうじ宇治金時、過去を引きずってさあ。このウジ虫どもが!

西村 そんなこと言うために今日来たの?

沢北 どっちかっていうとお前の方が気持ち悪いぞ。

天音 そうなのちよっと風邪気味で……。ちよっと吐きそう! うっ! ゲロゲロゲロゲロ! つてそっちの気持ち悪いじゃないぞ! カエル君!

伊東 どうしちやったの、天音。おかしいよ?

天音 おかしい？ おかしいよ。うん、おかしい。もうずーっとおかしいさ、狂ってる。そう、この5年間！ あいつが死んでから俺はもう狂いっぱなしだよ！

沢北 何言ってるんだお前。

天音 お前らはいーよーなー。楽しく今を過ごせてさあ。毎年毎年仲間内で集まって青春アミーゴしちゃってさあ！ 薄っぺらい！ 金魚なんて所詮人間が作り出した愛玩動物じゃないか！ ちつとも美しくない！ 仮初めだよ！

沢北 お前だって東京の美大かなんかで楽しくやってんだろ？

天音 落・ち・ま・し・た！ ズドドドーン！ 落下も落下急降下。

パラシュートなしで地面にズダン！ でぐちやぐちやだ！ そりや落ちるよ、そりや落ちるさ。描けないんだもの！ あの日から筆が、俺を拒むんだもの！

南雲 描けないってどういうことだよ？

天音 加地が俺の筆を止めるんだよ。

西村 加地が死んだことお前に何か関係があるっていうのか？

天音 ……あるよ。ありありだね。アリストテレスだよ。不思議の国のアリスさ！ 落ちて落ちて落ちて落ちて！ 行き着く先はどこでもない！

西村 おい！ ちゃんと話せよ！ 加地の自殺について何か知ってるの？

天音 いいよ。……そのために来たんだし。

南雲 でも、どうして今更……。

天音 ムカついたんだよねー。にっしーがさ、自分が描いた金魚の絵をフェイスブックにアップしててさー。俺はこんなにも苦しんでるのに。何樂しそうに絵え描いてんだよってさあ！ 土下座しろ！ 倍返しだ！ ってね。

沢北 なんだそりゃ。

伊東 ……西村は、この5年間、楽しそうに絵を描いたことなんてないよ。いつも……いつも苦しそうだっただ。

天音 でも描けるんだろ？ 俺は描けないんだぜ？ 本当、女々しくて女々しくて。つらいぜまったく。

沢北 なんで描けなくなっただってんだよ！

天音 ……夏休みのある日、俺は加地彩夏に呼び出された。理由は2つ。その日、俺は2つの告白をあいっから受けた。

西村 2つの告白？

天音 1つは、顧問の永井からセクハラを受けているということ。……もう1つは、あいつが俺を好きだということ。

間。

南雲 何言ってんだ？ 彩夏は……。

天音 あいつは俺が好きで、俺に永井のセクハラをやめさせてほしいと頼んだ。でも、俺は断った。なあ千草？ どうして俺が断ったかお前ならわかるよな？

南雲 ……彩夏が嫌いだった。

天音 ピンポーン！ じゃあなぜ俺は加地彩夏のことを嫌いだったのでしょうか？

南雲 ……才能に嫉妬したから。

天音 ピンポンピンポン大正解！ 虹介くん人形プレゼント！ 俺は賞レースや技術であいつに負けたことはない！ でも才能で負けてた！ その着眼点が！ 独創性が！ 大嫌いだった！ では続けて問題です。どうして南雲千草は、私が加地彩夏を嫌っていることを知っていたのでしょうか？

南雲 ……。

天音 ぶー。時間切れ！ 不正解！ 虹介くん人形没収！ 正解は！ 俺と千草が付き合ってたから！

間。

沢北 ……南雲って天音と付き合ってたの？ いつから？

南雲 昔の話だよ。3年の時だけね。でもみんなには内緒にしとこうって……。

天音 そう、俺は昔の話をしに来たんだよ。でも昔じゃない。昔つてのは今に繋がってるんだ。昔が変われば今が変わる。だから俺は昔を変えにきたんだ。タイムマシンなんていらぬ。俺は自分の手で今を変える。

西村 南雲とお前が付き合ってたのはわかったよ。……でも、加地がお前のこと好きだったっていうならあの遺書はどう説明するんだよ！

天音 それこそが俺のタイムマシン代わり！ 俺はあの日、告白を断った。知らなかったんだ。あいつがそんなに思い詰めてるなんて、死ぬほど……。俺は、あいつがちよっと、挫折すればいいって……。そう、それくらい軽い。風船、風船みたいな気持ちであいつを罵倒したんだ。永井にセクハラされるのはお前が悪いって……。あいつが自殺したのは、俺の責任だ……。なのにそんな俺にあいつは遺書を残しやがった。「大好きな人へ。ありがとう。さようなら。」机の中にそんな手紙を残して……。ふざけんよ！ 俺はこの先も一生お前を背負ってかなきゃいけないのか？ 無理無理無理無理。だから俺は手紙を西村の机に入れた。手紙に

俺の名前なかったし。あいつの死はあいつのことを好きだった西村が背負ってけはいんだよーんってなあ！

間。

天音 言えた！ 言えたぞー！ やつと言えた。ずっと罪悪感に苛まれてたんだ。罪を他人になすりつけたって、その意識は消えることはない。俺は、今！ 自分と向き合ってたんだ！ ありがとう！ にっしー！

南雲 いや、ちよつと待って！

天音 いやー。言えたぞー。向き合えた。これで俺は描けるようになる。前に進めるはずだぞ。こんな世界を愛するために！

沢北 おい待ってって！

天音 ふー。頑張ったー。頑張ったよ俺。神様ー！ 見てますかー！ 正直者がここにいますよー！

南雲 聞けよ！

天音 うー。緊張したー。そりや酒も進むわー。だってこんな長い期間、言えないでいたんだから！ あーよかったー。

南雲 待ってって言ってたんだろ！

南雲、天音をビンタする。

倒れこむ天音。

天音 いってー！ いててて。何すんだよ千草ー！ でも痛いってことは夢じゃない！ 夢じゃないぞー！

南雲 ……あんた変わったと思ったけど、やっぱ変わってないわ。

あの頃から自分のことしか考えてない。

天音 ン？

西村 お前、本当に俺の机に手紙入れたのか。

天音 んにゃ？ あったりまえじゃん。にっしーが加地彩夏を好き

なのは、超絶有名。美術部じゃあ知らぬ人なし。

沢北 ……俺の机にあったんだよ。

天音 はい？

沢北 その手紙は俺の机の中に入ってたんだ。

天音 沢北の机に入れる理由がないでしょ！ 沢北じゃねーよ。ど

あほう。

沢北 ちよつと黙ってるよお前！

天音 こわっ！

沢北 あー！ もー！ なんなんだよ！

沢北、縁側を叩く。

南雲 ……なあ、本当の本当に間違いない、西村の机に入れたんだよな。

天音 うん。本当に本当に本当に本当に西村だ。

西村 どうでもいいよ。

南雲 え？

西村 ……どっちにしろ、結局俺は片思いだったんだし。

天音 お前が悪いんだ。遅いんだよ！ お前がもっとさっさと気持ち伝えないからこーゆーことになるんだ！ 俺なんかのここに来ちゃうんだよ！

西村 変わらないだろ……。

天音 お前3年間ずっと好きだったんだろ？ 俺が告白されたのは3年だぞ？ ……ってことはあいつが俺のこと好きになったのも3年からかもしれないねーじゃんか！ お前が2年とか1年の時にさっさと告ってれば、俺もこんなもん背負わされずに！ 加地彩夏も死なずに済んだかもしれないじゃねーか！

西村 それは……。

伊東 ……天音、やめて。西村は本当にずっと後悔してて。

天音 一時期、加地・西村ペアがお似合いカップルだなんて噂になった時期もあったじゃねえか！ どーしてそーゆーチャンス逃しちゃうかな。

西村 俺だって、ずっと言おうと思ってたんだ。でも、言い出せなくて……。

天音 お前は昔からそうだなー。お前に背負わすために手紙入れたけど、どーゆーわけか手紙がなくても結局勝手に背負いこんでずーっと引きずって金魚の絵なんか描いちまってんだもんなあ！ ムカつくんだよ！ なんだあの金魚は！ 駄作もいいとこだ！

西村 俺は……。

南雲 もうやめろって虹介！

天音 俺はこいつの金魚なんか認めない。認めないぞ！

間。

南雲 ……なあ、今の話聞いてて思ったんだけどさ、もしかしてうちの「大親友へ。ありがとう。さようなら。」って手紙も本当はうち宛じゃないんじゃないか？

天音 ふーん。千草の机にそんな手紙が入ってたんだー。

南雲 うん。

天音 千草と加地彩夏が親友とはちょっと信じられない。じえじえ

じえだね。

南雲 私もそう思った。仲悪かったわけじゃないけど、親友なんて……。

天音 じゃあ別の誰かが俺と同じように、手紙を移動させた。なんでそんなことをするの？　なんでだなんてだろう？　……それは、親友だと思われたくないから？

南雲 確かに、親友だと思われんのは大変だったけどさ……。そんなことするか普通？

天音 ……じゃあ親友の資格なんてないと思ったから。

しばしの間。

突然、伊東、泣き出す。

全員、伊東の方を見る。

西村 どうしたの？　大丈夫。

伊東 ……ごめんなさい。

南雲 なんて謝まるの？

伊東 手紙……私が……。

南雲 ……マジで？　葵がやったの？

伊東、ただ泣くのみ。

南雲 ……ちよっと！　話してくんなきゃ怒りようも許しようもねーよ！

伊東、答えられない。

天音 ……俺、帰っていい？　さよならクロール。

南雲 ふざけんな！　あんたも美術部員だろーが！　大体あんたのせいでこんなことになってんだろーが！　ちゃんとケツ拭えよ！

天音 ……しよーがないなー。

天音、ふてくされつつ座る。

西村 ……伊東、話してくれ。お願いだ。

伊東、涙を拭いつつ西村の方を見る。

伊東 ごめんなさ……ごめんなさい。

西村 ……何したんだ伊東。

伊東、徐々に落ち着きを取り戻す。

伊東 ……私、天音が西村の席に手紙入れてるなんて知らなくて…。

天音 そりゃ、にんじやりばんばん忍者の如くばれないようにやつたからね。

南雲（本気で）あんたちよつと黙ってろ！

西村 これ以上茶化したら本気で怒るからな！

天音 はいはい。

西村 伊東…。

伊東 ……本当は、私の机に入ってた。でもその時、偶然西村の机で紙がはみ出してるの見つけちゃって。…それで、その手紙を沢北の机に。

沢北 ……何で俺なんだよ！

伊東 ……ごめんなさい。

沢北 ふざけんなよ！ お前のせいで、俺は！

伊東 ……本当にごめんなさい。

沢北 ……あー！ もう！

伊東 千草も、ごめんなさい。…私、怖くて。こんな卑劣な私を親友だなんて。…背負えなくて。こんなことになるなんて思わなかったの。千草なら大丈夫だって思ってた、それで…。

南雲 うちだつて大丈夫なことで大丈夫じゃないことがあるよ。勝手に親友にされて…。どれだけ…。葵のこと、信じてたのに。葵だけは他の奴らと違ってうちを彩夏の親友としてでなく接してくれるって…。

伊東 ごめん…。

間。

天音 何でそんなことしたの？ 俺が西村の机に手紙を入れたのはある種正当性があると自分でも思ってるけど。それをさらに沢北の机に入れる意味がさっぱりわからない。

伊東 ……。

天音 もしかして伊東も加地彩夏の自殺の原因の一端になってるわけ？ それだと俺の罪悪感が薄れて嬉しいんだけど。

沢北が天音を殴る。

天音 何すんだよ！

沢北 いい加減にしろ！ お前少しは人の気持ちを考えろよ！

天音 お前らが俺の気持ちを考えろよ！ こっちは嫌ってたつていうのに勝手に好かれて、勝手に手紙なんか残されて。いなくなつたらもうあいつを超えることなんてできないじゃんかよ！ あいつの描いてきてきた金魚たちはずーっと向こう側のまんまだ！ ポイはどこにあんだよ！ これじゃあすくえないじゃねーか！ 大体俺にキレるのはお門違いってもんだろ？ 俺は確かに手紙を西村の机ん中に入れたよ！ でも結局それも伊東が動かしてんじゃねえか！ 5年ぶりに来てみりやなんてことない。俺は何もしてないのと同じだろーが！

沢北 お前が手紙を西村の机に入れなきや、伊東も俺の机に手紙を移すなんてことはしなかったんだよ！ 俺も意味わかんねえ気持ちになんないで済んだし、意味わかんねえ復讐もしないで済んだんだ！

天音 何でもかんでも俺のせいにするじゃねえよ！（沢北に掴みかかる。）

沢北 全部お前が原因じゃねーか！（応戦する沢北。）

天音 そうやって俺のせいにして自分が楽になりたいだけじゃねーのか！

沢北 そういうことじゃねーだろ！

伊東 やめて！ 全部、全部私が悪いんだから！

天音、沢北、予期せぬ伊東の大声に掴み合いをやめる。

伊東 ……思つたの。西村があの手紙を見たら、一生彩夏のこと忘れられない！ だから私は……。毎年、今日集まろうって言ったのも、少しでも、少しでも西村の側にいたかったから。つながりがなくなるのが怖かった。だから、沢北と千草に……。

天音、その場にへたり込む。

天音 伊東も同じかー。……なんだよ。ずっるいなー。ずっりいよ。結局加地彩夏の一人勝ちじゃんかよー。

間。

西村 ……花火する？

南雲、沢北、答えはせずとも準備を進める。

伊東、天音、黙ってそれを見ている。
準備が終わると順に着火していく。

西村　きれいだね……。

南雲　ああ。

伊東　うん。

西村　伊東、ごめん。

伊東　え？

西村　俺、全然お前の気持ちに気づかなくて……。その……。

伊東　……。

天音　……あー！　思い出した！

南雲　なんだよ急に。

沢北　びつくりさせんじゃねーよ。

天音、急に神社の扉を開けようとする。

南雲　そこ開けていいのかよ！

沢北　いや、だめだろ！　何やってんだよ！

天音　思い出したんだよ！

天音、鍵がかかっているが、無理やりこじ開けようとする。

西村　何をだよ！

天音　こん中にあいつの絵があんだよ！　あいつ言ってたんだ！
祭りの日だけここの鍵が開いてたって。こっそり入ったって。

西村　それ、どういう……。

天音　どういふつもりかは俺も知らないさ！　あいつの感性なんか
理解できないからね！

扉が開く。

天音、中に入り絵を取り出す。

天音　……あつた。

天音の取り出した絵には、楽しそうに泳ぐ6匹の金魚。

西村　これ、俺たちか……。

天音　くそ……。こりゃ勝てねえよ。

天音、泣き崩れる。
つられるように全員涙を流す。
暗転。

○エピソード

1年後、2014年8月31日。

同縁側にて。

西村が一人で座る。

側にはバケツと花火が置いてある。

そこへ伊東が現れる。

メガネはかけていない。

西村 伊東……。

伊東 お化けかと思った？

西村 え？

伊東 暗いし、今年は約束してないし。

西村 あ、ああ。

伊東 それとも私じゃなくて彩夏のお化けが良かった？

西村 (笑って) そんなことないよ。

伊東 そう。

西村 そういえば今日メガネかけてないね。

伊東 あ、うん。

西村 来るのやめようと思ったんだけど、結局来ちゃった。

伊東 ……私も。

西村 ……さすがにもう引きずってるわけではないんだけど。

間。

伊東 ……あの、あのね。私、私は……。

伊東、感極まって泣きだす。
焦る西村。

西村 え？

伊東 ごめ……私、私ね。

西村 うん。

え？ え？ どうしたの？ 大丈夫？

伊東 ……今日、コンタクトにしたの。
西村 え？
伊東 コンタクトって慣れないと目が痛いね。
西村 う、うん。そうだね。

そこへ南雲と沢北が現れる。
沢北は手にスーパールの袋を抱えている。

南雲 ほらな。いると思った。
沢北 ほんとだ。
南雲 はい今度、叙々苑奢りねー。
沢北 ちくしょー。
西村 来たんだ。
沢北 こいつが行ってみようっていうからさ。
南雲 まあ、なに？ 女の感ってやつ？
沢北 お、花火はやっぱそっち担当だよな。ほら、お酒はこっちが
持つてきたんだぜ？
南雲 なんで泣いてんだよ葵！ 感動しすぎだろ？
伊東 え？ いや、うん。これは……。
沢北 俺らが来たのそんなに意外か？
伊東 いや……。
西村 伊東、コンタクトが合わないんだってさ。

しばしの間の後、笑い出す4人。

南雲 なんだよそれー！
沢北 感動じゃないのかよ！
西村 じゃあ始めるか。
南雲 もうちよいい待って。
西村 なんだ？
沢北 もう一つ賭けてんだよ。天音が来るかどうか。
西村 いや、虹介はさすがに……。
伊東 来るかな？
沢北 南雲が来るって言うんだよ。
南雲 あいつ見た目以外変わってなかったからさ。
沢北 元カレだもんな。
南雲 何年前の話だよ。
伊東 何賭けてるの？
沢北 すしざんまい！
西村 ……じゃあ俺来ない方で。

南雲 葵は？
伊東 ……どうかな？ 私は。

そこへ天音が現れる。
1年前の原宿系ファッションではなく、浴衣姿。
手には、加地が描いた金魚の絵を持っている。

天音 呼ばれて飛び出てじゃじゃじゃーん！ 『ヨーデルヨー
デルヨーデルヨーデル妖怪でるけんでられんけん！』 皆超絶お
久しぶり！。

西村 虹介！

南雲 な！ 言ったる？

天音 やっぱり皆来てたねー。そんな予感したんだ！

沢北 なんで来るんだよー！

天音 いやあ実はさー。ありのまま。皆に話したいことがあるん
だ！。

全員 え？

溶暗。

幕。

・参考・引用

美術作家 深堀隆介オフィシャルサイト

<http://goldfishing.info>

・劇中登場曲名

大塚愛 金魚花火（2004）

相対性理論 LOVE ずっきゅん（2008）

松浦亜弥 桃色片思い（2002）

HKT 48 メロンジュース（2013）

AKB 48 恋するフォーチュンクッキー（2013）

修二と彰 青春アミーゴ（2005）

ゴールデンボンバー 女々しくて（2009）

前田敦子 タイムマシンなんていらない（2013）

EXILE EXILE PREDE ！こんな世界を愛するために！（20
13）

AKB 48 さよならクロール（2013）

きやりーぱみゅぱみゅ にんじやりばんばん (2013)
Dream 5 ようかい体操第一 (2014) ※歌詞引用
松たか子 Let it go ありのままで (2014)